センター活用事例 ワンストップ移動相談所

県内各地域において開設しております。企業経営や創業に関する問題解決 に悩みをお持ちの皆様方は、是非ご相談ください。

お問い合わせ

あきた企業活性化センター/ 総合相談担当(018-860-5610)まで。

ワンストップ移動相談所

相談員が県内各地に 出張に伺います!

当センターを利用したくても、 「秋田市まで出掛けるのは大変」という 企業の皆様に。移動相談所へぜひどうぞ。

「ワンストップ移動相談所」とは?

創業や事業推進など、県内企業の皆様が抱える多種 多様な目的・課題をスピーディーにお手伝いするため、 県内各地域において開設している移動相談所。

秋田市(秋田地域振興局管内)を除く7つの地域振 興局を会場に、毎週火曜日(原則)の10:30~15:00に 開催している。

今年度は、各地域振興局7回ずつ合計49回の開設を 予定している。

【相談事例】 新山食品加工場 (横手市) の場合

創業は昭和10年ごろ。現社長の新山肇さんで3代目となる。秋田県南地方に伝わる昔ながらの製法で麹、味噌、醤油などを製造・販売している。味噌は、秋田県産米(あきたこまち)と県産大豆(りゅうほう)をともに100%使用。人工の酵母や、乳酸菌、添加物は一切使用せず、伝統の自然醸造を守っている。

新山社長が、ワンストップ移動相談所を初めて利用したのは2011年12月。「商品ラベルのデザイン開発」のために相談に訪れた。商品構成や商品ラベルが昔ながらのままで、同社の売りである「自然醸造」もアピールされていなかった。販路拡大や顧客への販売強化を進めるには、現状のままでは限界があった。

事業者 「ワンストップ移動相談所」を利用して の声 有限会社新山食品加工場 代表取締役 新山肇さん

かつて、麹屋、味噌屋は、秋田県内にたくさんありました。しかし、各家の味噌作りを味噌屋に依託することが少なくなったことや、味噌そのものの消費量が落ちたことから、我々の商売は昔のままでは立ち行かなくなりました。

「このままではダメだ」と思い利用したのが、平鹿地域振興局を会場に行われていたワンストップ移動相談所。これをきっかけに、専門家派遣事業を受けました。専門家の方には、ラベルのデザインから容器のことまで相談に乗ってもらいました。また、ロゴマークも完成しました。

他にも、「あめこうじ」と秋田県産果実を活用したフルーツ甘酒の開発、販路開拓をテーマに「あきた企業応援ファンド事業」への申請を行いました。今は、食品加工業者への業務用の原材料納入で売り上げを伸ばそうと、再び相談に乗ってもらっています。

ワンストップ移動相談所の良いところは、会場が最寄りの地域振興局であること。相談員の方が地域振興局に出張してきてくれるので助かります。また、相談員の方が商品の売り方から経営のことまで幅広くアドバイスしてくれるうえ、サポートもしてくれるので、スムーズに課題が解決できます。(B)

相談内容

- 経営全般 資金関係
- 設備関係 技術関係
- 人材育成 新商品開発
- 新分野進出 創業
- その他
- ※個人間の苦情処理や トラブル等の私的な内容は 除きます



新パッケージとなった味噌やたまり醤油。甘酒は、さまざまな展開を予定している。



「商品開発は、自分一人で取り組むと大変だが、おかげで順調に進んでいる」と新山社長。

ワンストップ 移動相談所

今後の開催スケジュール、会場など、 詳細は10ページをご覧ください。 http://www.bic-akita.or.jp/